

令和2年度（令和元年度対象事業）
笠間市教育委員会外部評価委員会評価結果
に対する改善への取組について

令和2年度（令和元年度事業）笠間市教育委員会外部評価委員会評価結果に対する改善への取組について

事業名	外部評価結果	意見・提案事項	改善への取組
<p>図書館サービス事業</p> <p>市立図書館（笠間・友部・岩間）</p>	<p>現行どおり継続</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民、特に子供たちがより利用できる図書館を目指してほしい。 ・幼稚園から小学校向けの推進活動は浸透してきているが、中学生以上の活字離れについての取組はまだまだのように感じる。 ・ギャラリー、勉強ができるスペースの活用を工夫すれば利用者も増えると思う。 ・電子図書を充実させていくことが解決の手立てとなり得るとのことであったので、ぜひその充実、周知を徹底していくことが望まれる。 ・電子図書の導入はとても良いと思う。ただ、利用の仕方を簡単に誰でもできる形にしてほしい（子供が利用しやすいように）。 ・ツイッターのフォローが少し減少していると思われる。次年度目標は高めなので、発信内容など工夫してほしい。 ・本を借りる場、読む場以外の多様な使い方、多世代の交流できる場としての役割も今後検討してみてもどうか（ボランティアの育成等）。 ・本に親しむ人を増やすため、幼児や小学生をはじめ、高齢者向けのイベント等を工夫し、長期にわたる利用促進を図ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童書の充実を図ってまいります。また小学校と連携した図書館だよりの発行、図書館見学などを通し利用促進に努めます。 ・読書離れが進む中高生層の興味を引き付ける蔵書の選定を図り、コーナーの充実にも努めます。 ・年間をおとしたギャラリーの開放や安らぎと学びの空間として、学習スペースの活用を図ります。 ・ホームページ、ツイッター、広報紙、館内表示など多方面から周知してまいります。 ・インターネットを活用し、いつでもどこでも誰でも利用できるサービスとして、電子書籍の導入を進めてまいります。 ・図書館のイベント情報や話題、本の紹介など掲載しておりますが、内容の充実にも努め魅力的な情報発信をしてまいります。 ・研修会や講習会を実施しボランティアの育成に努めるとともに、ギャラリーやホール・視聴覚室などを利用したイベント等を実施することにより、多世代間地域交流の場としての役割を充実させてまいります。 ・おはなし会やブックd e トーク、イベント等を通じ、幅広い利用者ニーズに応えるよう努めます。
<p>地区公民館運営事業（笠間）</p> <p>笠間公民館</p>	<p>現行どおり継続</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちと一緒に参加できる地域コミュニティ的存在も大切になってくる。地域全体で子育てから高齢者活動ができる公民館があってもよいのではと思う。 ・社会教育施設としての公民館と、コミュニティセンター的な役割を担う地区公民館とが混在している状況とのことで、それぞれ目的や役割を明確化していくことで、より利用しやすいものとなっていくと考える。 ・親子が集う場、子育て支援的な役割も求められる地域のコミュニティセンターとして保健センター等との連携も必要になってくると思う。 ・市民が集まる場所として、役割の見直しや、ニーズを吸い上げ、開かれた運営が望まれる。 ・ママと子供のデュアル講座はとてもよいと思う。保育士志望の学生などに、実習授業の一環として託児を頼めないものか。 ・各種講座の充実・発展には今後も力を入れていきたいと思う。 ・事業内容でイベントを行う際、インターネットを使用した申し込みが出来れば、もっと参加してくれる人が増えると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、社会教育施設としての地区公民館の用途など今後の在り方について検討を行っているが、人口減少時代においても地域コミュニティが衰退することなく、子どもから高齢者までの多世代が利用することのできる施設としての役割を担うことのできるよう方向性を決定してまいります。 ・施設についての地域の意向確認を行いながら、より良い施設運営を行ってまいります。 ・各種講座について、日頃から情報収集に努め、幅広い世代のニーズや時代の流れに即した内容を企画していくとともに、大学などをはじめとした教育機関や行政機関とも連携を図りながら内容を充実させてまいります。 ・講座等について、オンラインでの参加申し込み手続きができるよう検討を行ってまいります。
<p>スポーツ少年団補助金交付事業</p> <p>スポーツ振興課</p>	<p>改善し、継続</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化の影響もあり、又、子供たちの活動が内向き（ゲーム等）になるなか、あいさつなどの礼儀、異学年間のつながりは子供たちにとっては大切なことだと思うので、ぜひ少年団の活動への参加者を増やす努力をお願いしたい。 ・多種多様なレベルや目的が様々なクラブチームも増えてきており、必ずしもクラブチームからのプロ選手では親の意識もなくなってきているなかで、いかに「地域の少年団」の良さを理解してもらうかが必要であると思う。 ・少子化、保護者の考え方の変化等で、人員確保が大きな課題であると思われるが、説明の中にあつた「友達を作らせたい」、「地域の中で子供を育てたい」等、少年団で子供を育てていく良さをもっと保護者に伝えていくことは必要である。 ・スポーツ少年団に加入するにあたり、保護者の負担を考えるとなかなか子供を見学、体験するのをためらってしまうのですが、保護者がどのように団にかかわっているのか聞ける場があればよいと思う。 ・少子化の中、維持するだけでも大変であると思う。健全な育成のため、保護者に将来的メリット、雰囲気や伝わる発信を続けていってほしい。 ・配布している募集の冊子には、少年団の連絡先だけでなく、実績や空気感も載せてほしい。 ・団員募集の冊子にも少し写真などを使用してわかりやすくしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規団員確保が難しくなっているため、各団の指導者等との意見交換を行い、団員確保に向けた対応について協議し、各団での募集活動の活発化などの提案をしてまいります。また、スポーツへの興味、関心を深めるきっかけづくりや、子どもの運動に対する適性を判断するため、次年度以降、市内小学生の希望者を対象に「スポーツ能力測定」を実施し、新規団員の確保に繋がる事業を展開します。 ・スポーツ少年団で活動することは、保護者の皆さまが子供を見守り支えることで、自然に親子の会話が増えて信頼関係は深まり、子供の頑張る姿を目の前で見れることは、親にとっても幸せなことであり、子供たちと喜びや辛さを共にすることで親子の絆が強くなると思います。また、学年・学校の枠を超えた集団生活を通じて、決まりや仲間との出会い、礼儀や感謝の気持ちなど多くのことを学べる活動であることを、講演会や広報誌、募集案内等で広く周知していきます。 ・笠間市スポーツ少年団で作成している募集案内へ、活動風景など写真を掲載するよう検討していきます。また、各団体で作成するチラシにも写真や活動実績と、親の協力を要する部分などを掲載するようお願いしていきます。加えて、令和元年5月号より掲載している広報かさま内「熱血少年少女応援部」での各団紹介を続けていきます。

令和2年度（令和元年度事業）笠間市教育委員会外部評価委員会評価結果に対する改善への取組について

事業名	外部評価結果	意見・提案事項	改善への取組
<p>スポーツ国際交流推進事業</p> <p>スポーツ振興課</p>	<p>現行どおり継続</p>	<p>・アベベ氏に指導を受けるようになって笠間市の中学生の陸上競技技術は具体的にどのように変化したのか。（競技人口の増加、大会結果の向上等）</p> <p>・アベベ氏を多用し、グローバル化の進展を小中学生にこれまで以上に体験させてあげたい。将来、笠間市から日本を代表するようなマラソンの選手が出ると良い。</p> <p>・とてもよい経験になっていると思われるので、市内の子供たちに偏りなく交流できるようにしてほしい。</p> <p>・アベベ・メネコン選手は世界的な選手であり、活動や交流はとて多くのもので得られる機会となるものです。ぜひ、活動内容の充実を工夫して、せつかくの機会を生かして欲しい。</p> <p>・スポーツを通して多文化共生社会への国際理解につなげたい。</p> <p>・市外の子供たちにも無理のない範囲で交流機会を持たせてほしい。</p> <p>・アベベ氏とコミュニケーションをとるのが難しいようなので、専門の方又は、語学を学んだ方をボランティアでお願いしても良いと思う。</p> <p>・大切な行事の時だけでも通訳をお願いできれば、言葉を通してさらに充実した事業になるのではないか。（例）講話など</p>	<p>・アベベ氏による指導の成果が、すぐに結果として表れるものではないが、指導を受けている中学生からは、練習の目的がはっきりして以前より前向きに取り組むことができるようになったとの感想が多く、今後の競技成績の向上が期待されます。</p> <p>・オリンピックをはじめ世界各国で開催された大会への出場や一流選手の指導経験を持つアベベ氏による市内中学生陸上部の合同練習会を定期的に実施し、生徒の競技力と指導教諭の指導力の向上により将来有望な選手の発掘・育成を図っていく。また、小学生などには、正しい走り方を身につけることにより、走ることの楽しさを感じてもらえるような指導を実施していきます。</p> <p>・市内小中学校での体育や持久走大会の特別授業等への派遣の機会を増やすとともに、子どもから高齢者まで市民を対象として、走ることの楽しさや正しい走り方を指導するレッスンの場を設けて、交流を促進していきます。</p> <p>・日本とエチオピアの生活や文化の違いなど、アベベ氏の経験を伝える機会を設けて、子どもたちの国際感覚の涵養を図っていきます。</p> <p>・アベベ氏の活動を広く広報し、県の中体連や高体連に強化合宿等での派遣や、笠間市民以外でも参加できるランニングイベント等を実施していきます。</p> <p>・小中学校や市民への陸上競技指導では、英語を用いた市職員の通訳で十分伝わるが、講演会などを実施する場合は、アベベ氏の母国語（アムハラ語）を用いた方がより正確に伝えられることから、アムハラ語ができる市民や通訳の協力を得ていきます。</p>
<p>給食センター管理運営事業（笠間・岩間）</p> <p>おいしい給食推進室（笠間・岩間学校給食センター）</p>	<p>現行どおり継続</p>	<p>・安全安心が一番ですが、理想としては子供たちが給食を楽しみにしている。給食の時間が待ち遠しいというような給食であってほしいと思う。</p> <p>・栄養・食育面に配慮しつつ、美味しい給食を提供して欲しい。</p> <p>・子供たちへの安心安全な給食提供に関して大変努力されていることが分かりました。特に、コロナ禍で生産者への対応、学校現場の衛生管理や対策など、例年になく柔軟な対応が求められご苦労もあつたかと思う。今後も安心安全でおいしい給食の提供のために引き続き努力していただきたい。</p> <p>・安心安全でおいしい給食の提供に取り組んでいただいていることがよく分かります。学校給食は、子供たちへの教育効果として絶大なものがあると感じている。</p> <p>・貧困・一人親・共働き家庭にとって給食の重要度は増加していくと思われる。</p> <p>・衛生面に関しても気を配って調理して頂いていると思うのですが、今、コロナの状況で心配されている方もいるので、衛生面の報告があってもよいのかなと思う。</p>	<p>・今後も、安心安全でおいしい給食の提供に努めます。</p> <p>・引き続き、衛生管理基準に基づく衛生管理の徹底、事故防止を進めてまいります。また、栄養教諭と連携し、食に関する指導も進めていきます。</p> <p>・学校給食の役割を再認識するとともに、学校給食に対する児童生徒、保護者からの期待に沿えるよう努力していきます。安価で栄養バランスが整った給食の提供を進めていきます。</p> <p>・「食育だより」やホームページなどを活用し、衛生管理の取り組みなども広報していきます。</p>

令和2年度（令和元年度事業）笠間市教育委員会外部評価委員会評価結果に対する改善への取組について

事業名	外部評価結果	意見・提案事項	改善への取組
青少年相談員事業 生涯学習課	現行どおり継続	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、青少年相談員そして教育委員会が連携を密に取りあつて、<u>地域の子供たちを育てていただきたい。</u> ・青少年相談員が各校にいるのに学校等と情報交換がされていないのが残念であった。 ・ケータイへの依存で家にこもっている子供たちの問題について、<u>保護者と地域の相談員との連携・協力のもと学校と連絡をとりながら家に引きこもることが少なくできたらいいと思う。</u> ・研修した内容の報告会などを実施すれば、相談員だけでなく<u>家庭や地域とも情報交換が出来るのではないかと。</u> ・ネット等見えない部分での非行、<u>不適応行動への対応が急務である</u>と考える。スマホを持ち出す前の時期からの子どもはもちろん、<u>親への啓発活動も必要である。</u> ・亮春・中傷に加え著作権法についても教育が必要であるし、<u>関わる大人にも教育が必要ではないか。</u> ・青少年のネットリテラシー教育は重要であり、<u>市だけではなく県をあげて取り組むべき課題</u>と考える。 ・店舗を「たまり場」とする若者が少なくなってきたり、問題行動の質が急速に変わってきている現状や、若者に「<u>注意しにくい</u>」、「<u>声をかけにくい</u>」という相談員や店舗経営者もいるであろうことを考えると、相談者側の研修やネットワーク作り、親や子への啓発運動や活動等、期待される役割は非常に大きいものとする。従来の方向性を見直し、時代や現状に合ったあり方を検討していただきたい。 ・登録店舗数も大事だが、<u>具体的にどういう行動があったらどう対応するか等、ガイドラインによる質の向上も必要ではないか。</u> ・警察以外の地域に密着した活動はきわめて重要であり、これからも継続・発展させてほしいと思う。 ・目に見える犯罪が減少している今、<u>見えにくい事業への対応が望まれています。</u>ネット、ひきこもり（不登校）ゲーム等の問題に対して何らかの対策ができればと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年相談員が、市内中学校・義務教育学校を訪問し、意見や情報交換を行っておりますが、<u>更に活動内容や青少年の状況などを、学校や家庭と情報交換を行い、地域などとの連携を図りながら今後も青少年の健全育成・非行防止活動を実施してまいります。</u> ・時代の変化に伴い、青少年のかかえる問題や不適応行動が、外からはわかりにくくなっているため、一番身近にいる親を対象とした、研修なども検討してまいります。また、スマホを子供に持たせ始める時など、持たせる際の注意点など現在も講演会等実施しておりますが、<u>更に危機感を持っていただけるよう、対応を考えてまいります。</u> ・現在の相談員活動を残しつつ、<u>現状に合った相談員の在り方を考えていきます。</u> ・「青少年の健全育成に協力できる店」の登録をする際に、各店の対応方法を説明し、それぞれの店種による<u>遵守事項もお渡ししております。</u>今後も店舗と連携を図り、青少年の健全育成に努めてまいります。 ・時代の変化に伴い、発生する新たな問題に対応できるよう、青少年に適切な支援を行うため<u>研修・交流活動を行ってまいります。</u>
かさま音楽フェスタ～奏～事業 生涯学習課	改善し、継続	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽、特にクラシックに触れ合う<u>機会は子供たちは少ない</u>と思う。こういった事業を通してより広く、よりわかりやすく接することができることは大切だと思う。 ・<u>芸術的な事業を継続・発展させて</u>いただきたい。 ・<u>地方出身者の発表の場のひとつになれば良いのではないかと。</u> ・出演者、対象者の幅をより広げていくことで、課題の解決にもつながっていくのではないかと考える。折角、同じ課が担当しているので青少年相談事業と関連づけるなど思い切った改革をしてみたいかかと考える。 ・芸術鑑賞を目的とした事業のようであるが、<u>もっと参加型にしても良いのか</u>と思う。 ・<u>数日に分けてプロの演奏、アマチュア、子供というような、いろいろな世代の方の演奏会でも良い</u>と思う。 ・SNSは欠かせない時代であり、<u>広報の手法についても検討</u>してみてもどうか。 ・チケット代の心配がなく、芸術に触れる機会が増える素晴らしい事業。できるだけ沢山の<u>人に観てもらえるよう、周知方法、企画など引き続き力を入れてほしい。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、文化庁主催の芸術文化事業を積極的に活用するとともに、キッズコンサート等音楽に触れる機会を提供することで<u>情操教育に寄与したい</u>と考えております。 ・笠間市在住、出身のアーティストの掘り起こし、活躍の場づくりを合わせて進めていくことで芸術文化のまちづくりを推進したいと考えております。 ・笠間市在住、出身のアーティストの掘り起こしと活躍の場づくりを、またアフターコロナを見据え多様な芸術鑑賞のあり方を検討していきたいと考えております。青少年相談事業との関連づけの可否について、担当者間で協議したいと考えております。 ・<u>参加型芸術鑑賞のニーズや形態等について、検討</u>してまいります。 ・きめ細かくチラシやポスターを配布するとともに広報誌やホームページにより広報しておりますが、<u>ツイッターやラインなどのSNSを駆使して新たな芸術鑑賞者を開拓</u>したいと考えております。

令和2年度（令和元年度事業）笠間市教育委員会外部評価委員会評価結果に対する改善への取組について

事業名	外部評価結果	意見・提案事項	改善への取組
<p>英語教育の充実について</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語教育強化推進事業 グローバル人材育成事業 <p>学務課</p>	<p>改善し、継続</p>	<ul style="list-style-type: none"> 笠間市が英語教育事業に力を入れているのが分かった。グローバル化の発展に伴い、<u>より新しいAETの指導方法を考えてもらいたい。</u> AETの活用は大変成果が上がっていると思う。 児童・生徒への助成を含め、さらに支援していただければありがたい。 英検助成人数が大きく増加し、取組が報われてきていると思う。 英検助成事業は今後受験希望者が増加しても、子供たちのためにぜひ継続をお願いしたい。 保護者の立場からすると、助成金の額をさらに上げてはいいかがか。 英検3級以上のR3目標がやや高いが、粘り強く取り組んでほしい。 予算等、様々な都合がある中で大事な分野に注力されていると思う。ただ、<u>対象や内容を広げすぎ</u>でしまうと、どれも中途半端になってしまうようにも思う。 子供や保護者のニーズと笠間市として力を入れたいところのすり合わせ、<u>対象や内容の見直し</u>を行っていくことが必要であると思う。 夏季集中プログラムの見直しは必要だと思う。 学校における英語教育と市の事業として行う英語教育との区別化も必要かと思う。（例）派遣、留学事業等はどうか 学ぶ目的意識、動機づけにつながる活動も必要ではないか。（世界一周体験者など海外で活躍した人の話を聞くetc...） 	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用して、<u>市内や海外と遠隔授業を行う</u>など、英語コミュニケーション能力の向上を図ってまいります。 英語の授業のみならず、<u>各国の異なる文化を紹介するなど、総合的な学習での国際理解教育の推進</u>を図ってまいります。 小学校5年生～中学校3年生を対象に、<u>今後も年1回の助成を継続してまいりたい</u>と考えております。 県で実施しているIBA（ブレ英検）の結果を活用し、<u>ウィークポイントの克服や個々の英検目標を明確にすることにより、英検受験率のさらなる向上を目指してまいりたい</u>と考えております。 一人一台のタブレット端末が整備されることから、<u>様々なアプリケーションを活用し、個々のレベルにあった英検問題に取り組む</u>ことで、<u>合格率の向上を図ってまいりたい</u>と考えております。 これまでの対面授業に加え、<u>オンライン授業を組み合わせたハイブリット教育をはじめ、ICTを活用し個々のレベルに合わせた学習を取り入れ、英語教育の推進</u>を図ってまいります。 夏季集中プログラムについては、<u>希望者の少ない中学校向けのプログラムについて、コースを選択できる方式（スピーキングコース、英検コースなど）に変更</u>することで、<u>生徒のニーズに合ったプログラムを実施したい</u>と考えております。 <u>海外研修事業を実施するなど、海外で現地の言語や文化について学習する機会</u>の提供を検討していきたいと考えております。
<p>特別支援教育の充実について</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育支援員配置事業 特別支援教育指導専門員配置事業 <p>学務課</p>	<p>現行どおり継続</p>	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援員として専門員の活用がよくなりました。今後も予算の続くかぎり、<u>より充実した特別支援教育ができるよう</u>期待する。 特別支援教育支援員並びに指導専門員の教育効果はきわめて大きなものがあります。また学校サイドからの要望もさらに増えてくるかと思われるので、ぜひ、事業の継続・発展をお願いしたい。 予算の関係もあると思うがなるべく先生の負担を減らし、<u>生徒が過ごしやすいう引き続き配慮</u>してほしい。 幼児教育施設との連携、引き継ぎをさらに密にすることが求められる。難しいとは思いますが<u>保幼小の接続の視点からも、支援員が幼稚園から保育園に継続して支援し充実していくとよい</u>と思う。 保護者からの聞き取り、支援員と先生の連携など、<u>コミュニケーションを大事に支えあえる関係</u>が望ましい。 特別支援員と担任、<u>保護者との交流をもっと取るべき</u>なのではないかと思う。 保護者の中にも支援員の活動内容や役割について理解不足な部分があると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育支援員及び特別支援教育指導専門員については、<u>適切な配置・運用</u>を行い、<u>引き続き事業の充実</u>を目指してまいります。 笠間市こども育成支援センターの心理士による<u>幼児教育施設の巡回</u>を行っていることから、<u>今後もセンターと連携し支援の充実</u>に努めてまいりたい。 毎日記録している特別支援教育支援員支援記録を基に、<u>支援員と担任が情報共有</u>を図ってまいります。 支援員と担任とが情報を共有し、<u>担任を基本とした保護者との連携を密に交流</u>を図ってまいりたいと考えております。 子どもたちや保護者に対し<u>支援員の役割をしっかりと説明し、支援員の活動内容や役割について理解を深めて</u>まいりたいと考えております。